

四万十清流タイムズ 第5号



四万十高校学校新聞

平成 26 年 6 月 6 日発行

PTA 会長あいさつ

PTA 会長 竹本忠久

平成26年度 PTA 総会において会長に選任されました竹本忠久と申します。

齢六十路を越えましたが、最後の奉公と自分に言い聞かせ会員の皆様とともにこの一年間を乗り切る覚悟です。

過疎地ゆえの少子高齢化の波のあおりを受け本校におきましても生徒数が年々減少の一途を辿っていますが、生徒数が少ないのを逆にプラスにとらえれば内容の濃い教育指導も可能ではないでしょうか。

四万十高校の教育基本方針の通り育まれた自然と共鳴し調和して感性豊かな生徒の育成及び生徒一人ひとりの個性を引き出し、豊かな人格形成の構築これらについては、教職員はもとより家庭での取り組みも大変重要ではないでしょうか。

PTA 会員の皆様これらのことを踏まえ PTA 活動にも積極的にご参加を頂き共に子ども達のために頑張っていきましょう。

さらに本年度は四万十高校六十周年の記念行事も予定されております。

今後も皆様方のご協力よろしくお願い申し上げます。

校長あいさつ

校長 豊嶋寿昭



風薫る若葉の季節から、夏への移り変わりを感じる今日この頃です。

さて、去る5月10日(土)に開催されたPTA総会では、5年間の長きにわたる本校の存続、教育活動の振興にご尽力くださいました門脇郁夫様がPTA会長を退任され、竹本忠久様のPTA会長就任をはじめとする役員選出や予算案の審議等を行い、本年度の四万十高校の教育活動を支える体制が固まりました。昨年度は、ご家庭のご支援もあり進路面では一定の成果を収める

ことができましたが、より良い学校づくりに向けて教職員が一丸となって取り組んでまいりますので、本年度もよろしくお願いいたします。

四万十高校は今年で創立 60 周年

この春、四万十高校は創立60周年を迎えました。

昭和 29 年、窪川高校の大正分校として発足し、昭和 40 年には旧校名である「大正高校」となりました。その後、平成 11 年に現在の校名である「四万十高校」に校名を変更しました。

創立 60 周年の節目の年を、同窓生の交流促進、地域に貢献できる生徒の育成、さらには地域の活性化に繋がられるよう、同窓会、PTA、地域の皆様と連携して取り組んでまいりますので 60 周年記念式典、記念事業へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

つきましては 60 周年記念式典、記念事業についてご案内差し上げます。

1. 創立60周年記念式典・記念シンポジウム・祝賀会

日時 平成26年11月23日(日)13:30～(予定)

2. 創立60周年記念事業のご案内

保護者、同窓生、地域の皆様方、どうぞご参加ください。

○創立60周年記念 文化講演会

日時 平成26年6月27日(金)9:50～11:20

場所 四万十高等学校 体育館

講師 鴻巣友季子氏(翻訳家、エッセイスト)

演題 「人の心を動かすー翻訳入門」

3. 創立60周年記念式典等の実施に向けて

(1) 創立60周年 第1回実行委員会

日時 平成26年6月下旬 18:30～(予定)

会場 四万十高等学校

出席者 同窓会役員、PTA役員、教育振
興会役員

内 容 実行委員会の規約・役員及び募
金方法等の決定

(2) 第1回実行委員会の開催へ向けて

・同窓会役員会 平成26年6月10日(火)

18:30～

・実行委員会準備会 平成26年6月10日(火)

PTA役員会終了後

上記のようになっております。変更等が生じた場合
はその都度ご案内させていただきます。

新入生、入学

新入生代表 1-1 榎本瑞季

四万十高校に入
学して毎日とても楽
しく過ごしています。
私のクラスは普通科
ですが、クラスのみ
んなは個性的で面
白い人もたくさんいま



す。となりの自然環境コースの人たちとも一緒になって
休み時間を過ごしたりしています。とてもいい学年です。
まだ入学して間もないですが、これからの高校生活で
自分の進路を
決定してい
きたいと思
います。楽
しく有意義
な3年間に
なるよう頑
張ります。



1年生宿泊研修に行ってきました



大方青少年の家で
わずか2日間でしたが、
様々なことが学べまし
た。普段ならば親に任
せてしまうことも自分
でやらなければならない、
親のありがたさがわか

りました。また、人と協力することも高校生活が始まっ
て初めてのことであったのでよい体験ができました。
様々な場面で楽しみを見つけることができました。

一番思い出に残っているのは肝試しです。友人の
普段なら見せない表情や言動がこの活動の中でみる
ことができ、楽しかったです。

どの取組であっても生徒会の先輩方はとても親切
で優しく助けられました。団体行動では5分前行動を
心がけることもこれから生かすことができると思いま
す。中学と高校は違うことも改めて実感することがで
き、これから高校生としての自覚を身につけようと思
います。先生や生徒会、青少年の家のスタッフの方々お
世話になりました。ありがとうございました。

1-1 川村実穂

今年もやりました。四万十川一斉清掃



4月11日に四万
十川一斉清掃を行
いました。その成果
は、昨年の 960kg
に対し、今年は 380
kgと少なくなってい
ました。これはゴミ

が減ったのでしょうか？皆の拾う量が少なかったのだ
でしょうか？それとも、清掃時間が昨年と比べて短かっ
たからでしょうか？理由はわかりませんが、ゴミが依然
として川原に残っていることは確かです。

環境委員として皆の意
見をまとめたいと思います。
まず、「川の周辺にゴミが
あるのは何故か？どうしたら
なくなるか？」という質問が
ありました。その中で多かつ
た意見は、「ポイ捨て・不法
投棄・台風などで、ゴミが流
れてくる」などでした。「この様なことをなくすためには
どうしたら良いか？」という質問に関しては、「看板を作
る・自分自身がゴミを捨てないように意識する・ゴミ箱
を増やす・周囲の人に声をかけをする」といった意見が
ありました。



毎年、この四万十川一斉清掃をしてみて私が思う事は、缶やビンがやはり多いという事です。これらのゴミを無くすためには「自分のゴミは自分で最後まで責任を持って片付ける。」そうすればゴミの量も減ると思います。川原のやぶ中のゴミ拾いは体力がいる作業ですが、ゴミがなくなるまで私達、四万十高校は頑張りたいと思います。地域の方々、ご協力ありがとうございました。取材・文責 環境委員 3-1 岡崎ありな

幡多支部体育大会(郡体)報告

【バスケットボール部】



4月26日、西南大規模公園体育館で郡体が行われました。僕たちバスケット部は現在7人ですが、この日は2人が病気のため大会に参加できず、ギリギリの5人で試合をすることになってしまいました。試合は負けてしまいましたが、試合終了後に先生、部員で話し合いをし、得るものがたくさんありました。今は3年生最後の大会である県総体にもむけて努力しています。結果はどうだろうと、部員のみならず後悔の残らない試合をしたいと思います。副キャプテン 3-2 中原雅輝

1回戦 四万十 30-69 幡多農業

【バレーボール部】



この大会では新チームとなって初めての試合で不安もありましたが、初戦の宿毛工業戦では相手の雰囲気にもまれず、自分たちのペースで試合することができ、勝利につながりました。中村高校戦では敗れましたが、3試合の中で一番楽しく自分たちのバレーをすることができました。これからもがんばっていききたいと思います。キャプテン 2-1 中平沙歩

1回戦 四万十 2-0 宿毛工業

2回戦 四万十 0-2 中村

3位決定戦 四万十 0-2 幡多農業

【ソフトボール部】



この大会では初戦から苦戦を強いられました。幡多農業高校に対して、チャンスで1本がなかなか出ず、得点をあまりとることができませんでした。試合は延長戦へともつれ込み、なんとか勝利することができました。決勝戦は宿毛工業高校と対戦しました。中盤に連打で2点を先取し、その後も1点を加えて勝利しました。優勝することができてとても嬉しかったですし、県総体へ向けての課題も見つかり、今後の練習にさらに熱が入りました。キャプテン 3-1 丸山直樹

準決勝 四万十 1-1 幡多農業

(1-0 タイブレーカー8回)

決勝 四万十 3-1 宿毛工業

ALTにきいてみよう&高校生だった頃

前回に引き続きALTのロージーに高校生だった頃をインタビューしてみました。後編となります。日本とオーストラリアの違いなど興味深い話が聞けました。

Q5 どうやって通学していましたか？

I went to school by bus except my last year. In my last year of school, I had a lot of homework. So every night, I had 5 hours homework. I would sleep at my grandmother's house, because it was close to school. But usually by bus. One hour on a bus. So on the bus I studied.

学校には最後の年以外はバスで通いよった。最後の年はめちゃくちゃ宿題が出たけん、毎晩5時間勉強しよった。やけん学校に近い祖父母の家で寝泊りしよった。でも、普段はバスで通いよった。1時間もバスに乗らなあいかなかったけんその間に勉強しよった。

Q6 日本とオーストラリアの学校の違いは？

At high school in Australia, teachers have their own classroom. So they stay in their classrooms and students change classrooms. Here, teachers change classrooms. We choose our own seat. So we can sit anywhere. No sleeping during class. If students sleep during class in Australia, teachers tell them to get out.

At school, we don't have *Kyushoku*(給食) in Australia. We bring our own lunch. We cannot eat in our classroom, so we leave classroom at lunch time. In cafeteria we have no vending machine. No sugary drinks in school.

Here, you have a close relationship with your teachers. If you have a problem, you can come to your teacher and ask for help. But in Australia, not so much. Here, teachers teach even after school finished. In Australia, no.

And you have very small high schools. In Australia, usually big schools.

Also in Australia after *Ichinensei* (1年生), they can leave school. They can choose to stay or leave. By law, they must go to school until 16 years.

オーストラリアの高校では、それぞれの先生に教室があるけん、先生らゑは教室におって、生徒が教室を移動するがよ。日本やと先生らゑが教室を変わるやんか。あと、私らゑは座席を選べるけん、どこでも好きなところに座れる。授業中に寝るがは厳禁やね。そんなことしよったら、先生に「出て行け！」って言われる。

オーストラリアには給食がないがね。私らゑは

各自がお弁当を持ってきた。教室では食べられないかんかったけん、教室の外で食べよったねえ。学食には自販機がないし、学校にはジュースがないがよ。

それから、ここの学校では先生と生徒との関係が近いと思う。もし何か問題が起こったら先生のところに行って助けてもらえるでね。やけどオーストラリアではあんまりそんなことはない。あと、日本の先生は授業のあとでも（補習とかで）教えてくれるね。オーストラリアはちゃうで。

学校の規模もちんまいね。オーストラリアでは普通はでっかいよ。

オーストラリアでは1年生が終わると学校をやめることができるがよ。学校に残って卒業まで続けるか、やめるか選べるが。法律で学校に行かんといかんがは16歳までやけんね。

日本とオーストラリアの学校の違い、けっこうありますね。前回の記事をもう一度読みたい方はホームページ→部活動→広報委員会から第4号をクリックしてみてください。

取材・方言訳 2-1 大元一希・宮地明日香

編集後記

平成26年度がスタートし、早くも2カ月が過ぎました。中間テストも終了し、手ごたえを感じてガッツポーズの人、肩を落としている人、様々かと思えます。しかし、これで終わりではありません。高校卒業後の目標を達成できるようになるためにテストがあるのです。良い点を取るためにテストがあるわけではありません。どうかみなさん長期的な視点と短期的な計画を織り交ぜ、目標達成に向けて頑張ってください。

企画・編集

四万十高校生徒会 広報委員会

お問い合わせ窓口：四万十高校総務部

メール shimanto-h@kochinet.ed

電話 0880-27-0034

FAX 0880-27-0477

